

建物内増設部建築費は標準建築費の3分の1程度で可能です。

標準プレハブ建築の場合は (坪) 50 万円×6.35 坪 = (約) 3,200,000 円ですが別館吹抜部床貼り及び電気工事のみの場合は、屋根、天井、既設壁が存在する為、別紙概算見積書の記載の通り概算 167,000 円×6.35 坪 = (約) 1,060,000 円です。一般建築費 3,200,000 円×(約)33% = 総工費 (約) 1,060,000 円で施工可能です。

別館吹抜け部 2 階床貼り増設概略見積書 (標準建築費×(約)3分の1詳細内訳)

桧一等材料節付丸太 (材工共)	太サ 200Φ × 4 本	= 200,000 円
大引根太、下地 (材工共)	2 1 m ² × 7,000 円	= 147,000 円
フローリング貼り (材工共)	2 1 m ² × 10,000 円	= 210,000 円
米母無垢木框扉 H2,000×W900×t 36 (枠材、材工共)		90,000 円
塗装工事 1 人工 (材工共)	2,500 円 × 2 人工	= 50,000 円
天井、照明、床コンセント工事	照明器具配線材工共	= 55,000 円
エアコン 3,200Kcal (材工共)	100,000 円 + 25,000 円	= 125,000 円
足場工事	2 1 m ² × 2,000 円	= 42,000 円
養生、クリーニング	2 1 m ² × 2,000 円	= 42,000 円
諸経費	961,000 円×約 10%	= 99,000 円
合計	標準建物 320 万円×3分の1	= (約) 1,060,000 円

*内装仕上げ材の品質ランクに依り 10%~20%増減が生じるかと思えます。

*増設案の内、中庭部、パーゴラ部は屋根工事が上記概略見積工事費の別途に坪当たり約 6 万円~7 万円が必要です。

増設に対する構造過重耐力の安全性。

当建物は壁構造壁造り(壁厚 50 cm)ですが建築基準法令数値×(約)1.3 倍~1.5 倍の強固な建物(構造計算書: HP 内価額詳細)ですが構造設計士の谷淳氏に増設工事過重耐力に対して確認致しましたが十分な構造耐力にて施工されて居ります為鉄骨床、木造床の何れも何ら支障はありません、とのご承認を得て居ります。